

事項	りんご試作品種「きおう」の特性		
ねらい	「きおう」は9月上旬に収穫できる黄色品種で、食味、外観が良好で早生種の黄色品種として有望と思われるので、試作する上での参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 育成経過 本品種は、岩手県園芸試験場が昭和57年に「王林」に「はつあき」を交配育成した品種で、平成6年3月に品種登録された。</p> <p>2 果実特性 (1)熟 期：9月上旬 (2)大きさ：300g程度 (3)果 色：黄色で、果皮に光沢があり、外観が良好である。 (4)果 形：円～扁円形 (5)食 味：果肉は硬く、肉質は粗い。糖度は13%前後、酸度は0.40g/100ml前後で、果汁が多く、甘酸適和で食味は良好である。蜜は入らない。 (6)貯蔵力：貯蔵期間は普通冷蔵で約1か月間程度である。</p> <p>3 その他の特性 (1)生 態：開花は「ふじ」より1日程度早い。 (2)樹の性質：樹姿は王林に似て直立性で、樹勢は若木では強いが、果実が成り込んできると弱くなる。 (3)交雑和合性：「ふじ」、「王林」とは和合性が高いが、「つがる」とは不和合性である (4)生産力：花芽がつきやすく、豊産性である。隔年結果は見られない。 (5)耐病性：斑点落葉病に対する抵抗性は「ふじ」よりやや弱い。 (6)その他：収穫前落果、熟期のバラツキ及びつる元の内部裂果の発生がみられる。</p>		
期待される効果	9月上旬に収穫できる黄色品種として普及することによって、労働力の集中回避、気象災害等からの危険分散及び品種構成の多様化が図られる。		
利用上の注意事項	<p>1 収穫前落果があるので、落果防止剤の散布が必要である。</p> <p>2 熟期が揃わないので、3回ぐらいに分けて収穫する。</p>		
担 当	青森県農林総合研究センターりんご試験場 育種部	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成7～14年度 青森県りんご試験場試験研究成績概要集</p> <p>平成15年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験研究成績概要集</p> <p>平成7～8年度 果樹系統適応性・特性検定成績検討会資料</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「きおう」の生態

(平成12～15年 青森農林総研りんご試)

年	発芽日		開花日		満開日		落花日	
	きおう	ふじ	きおう	ふじ	きおう	ふじ	きおう	ふじ
平12	4.10	4.11	5.14	5.15	5.22	5.19	5.25	5.25
平13	4.8	4.9	5.6	5.7	5.15	5.14	5.19	5.19
平14	3.28	3.30	4.25	4.25	5.2	4.30	5.9	5.9
平15	4.10	4.10	5.5	5.5	5.12	5.10	5.17	5.15
平均	4.6	4.7	5.5	5.6	5.13	5.11	5.18	5.17

(注) 平成14年は開花が異常に早かった年

表2 「きおう」の果実品質

(平成7～15年 青森農林総研りんご試)

年	収穫日 (月日)	調査日 (月日)	一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	備考
平7	9.4	9.4	350	15.5	12.6	0.43	貯蔵後の品質
平8	9.14	9.18	251	15.7	13.2	0.40	
	〃	10.15	250	15.3	13.6	0.33	
平12	9.7	9.8	293	16.4	13.3	0.45	
平13	9.6	9.7	286	18.3	13.4	0.42	貯蔵後の品質 落果防止剤散布
平14	8.23	8.24	301	15.5	13.2	0.35	
	〃	10.2	327	13.1	14.4	0.35	
平15	9.3	9.8	288	15.7	13.6	0.37	
平均	9.4		295	16.2	13.2	0.40	貯蔵後を除く

(注) 1 平成7、8年の調査樹：スターキング/MM.106台樹へ高接ぎ、平成8年で高接ぎ5年目

2 平成12～15年の調査樹：ふじ/M.26台樹へ高接ぎ、平成15年で高接ぎ7年目

表3 「きおう」の斑点落葉病抵抗性

(平成11年 青森農林総研りんご試)

品種名	調査葉数	発病率(%)	被害度
未希ライフ	15	0.0	0.0
きおう	15	33.3	7.8
つがる	15	0.0	0.0
ふじ	15	20.0	4.4
北斗	15	100.0	60.0
スターキング	15	100.0	73.3